

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アイルコーポレーション株式会社複	階数	地上10F
建設地	さいたま市浦和区仲町1丁目95-2,9	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年10月1日
敷地面積	987 m ²	作成者	生和コーポレーション(株)
建築面積	671 m ²	確認日	2019年10月1日
延床面積	3,738 m ²	確認者	生和コーポレーション(株)



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	71%
③ 上記+②以外の	71%
④ 上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	高効率機器、LEDを採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	特になし
Q1 室内環境	断熱性能等級4取相当と、室内環境の快適性に考慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー	断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	LR3 敷地外環境 光害対策のチェックリストの過半を満たすことにより、光害の抑制に努めた。
Q2 サービス性能	耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	節水機器、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
 (仮称)アイルコーポレーション株式会社複合ビルプロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.3
1 音環境						3.7	0.15	3.0	1.00	3.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.44	3.0	0.50	
1.2 遮音						4.6	0.44	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		非住宅部分: T=2等級				5.0	0.81	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.19	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.12	3.0	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.1	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温		住居部分: 断熱等性能等級4相当				3.0	0.49	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.29	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.21	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.6	0.25	4.0	1.00	3.1
3.1 昼光利用						1.9	0.32	4.0	0.50	
1 昼光率		住居部分: 2.0%以上				1.0	0.53	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.47	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.27	4.0	0.50	
1 昼光制御		住居部分はカーテンと庇により制御				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.13	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.28	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.54	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.34	3.6	0.38	
1 換気量		住居部分: 建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保				3.0	0.42	5.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	0.16	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.42	3.0	0.33	
4.3 運用管理						4.0	0.12	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		非住宅部分: 全面禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.2
1 機能性						2.7	0.40	4.0	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ						2.6	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		各住戸に光ファイバーインターネットサービスを導入				1.0	0.16	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.16	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	0.69	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.5	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		住居部分: 天井高2.5m以上				3.0	0.19	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.19	-	-	
3 内装計画						1.0	0.61	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装に維持管理のしやすい建材を採用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備している				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイル貼り(耐用年数40年)				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床: タイルカーペット(20年)、壁: ビニルクロス(20年)、天井: ボード(30年)				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(PEP)B、汚水排水(VP)B、通気(VP)A、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			4.6	0.17	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	非住宅部分:3.7m以上 住居部分:2.9m以上3.0m未満	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	非住宅部分:壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.17	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.65	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			非住宅部分:BPIm=0.70 住居部分:断熱等性能等級4相当	4.5	0.20	-	4.5
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			非住宅部分:BEIm=0.64 住宅部分:BEI=0.81	4.7	0.50	-	4.7
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.58	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.42	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水型水栓、節水型便器を設置	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率71%	4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	